



### 散らかり放題の子ども部屋が、こんなにすっきり！ 家族みんなが驚きました

【モニターBさん（30代）】

お住まい 一関市（戸建て）

家族構成 夫・妻・子ども（7歳・4歳）

家事シェア率 妻9：夫1

家事代行サービスの利用 初めて

（家事代行サービス利用前）

- ▶特別な人が利用するサービス
- ▶家に招く状態ではないと思っていた
- ▶何をどれだけお願いできるか分からない



## 1. お悩み

二人目を出産後、仕事に復帰しフルタイムで働くようになったら、子育てと仕事で手一杯で家事に手が回らなくなってしまいました。

共働きで、家事は主に私（妻）がやるのですが、洗濯だけは夫にまかせていました。すると、洗濯物を取り込んで子ども部屋にポイっと置いておくだけ。季節のものも混ざり、サイズアウトした服とそうでない服もごちゃ混ぜになってしまいました。

いつか整理整頓しようと思いつつも手が回らず、子ども部屋をみるたびにため息をついていました。

## 2. 利用したサービス

- ・服の仕分け
- ・服の整理整頓
- ・おもちゃの整理整頓

【サービスメニュー】

ダスキン メリーメイド 家事お手伝いサービス  
スタッフ1名・2時間

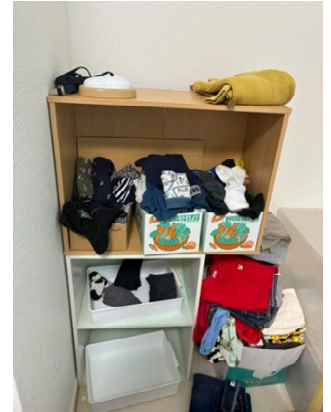
サービス内容の詳細は、下記ホームページを御覧ください。  
<https://www.duskin.jp/merrymaids/>



### 3. 当日の様子

9時30分～

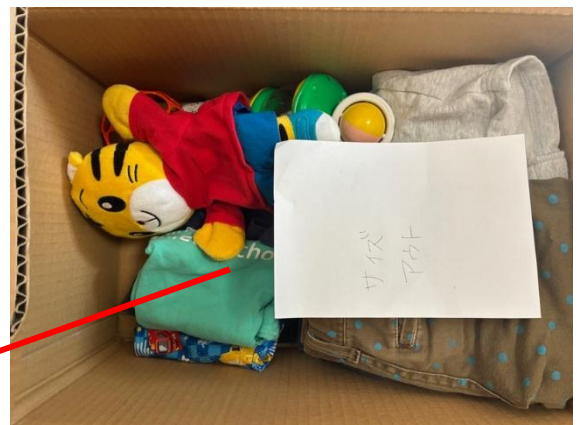
服の整理整頓スタート。  
子どもの服とおもちゃ、段ボールが  
散らかった状態です。



まずは、外に出ている服のサイズをチェックしながら、畳んでサイズ別に分けていきます。



サイズアウトして着られない服、  
使わないおもちゃを仕分けします。



仕分け結果が、分かりやすいようにメモ  
(サイズアウト)

## 📄 ケース2 モニターBさん

令和7年度家事代行モニター体験レポート (岩手県)

10時～

サイズごとに仕分けして、衣装ケースにしまえます。



10時30分～

おもちゃの整理



(before)

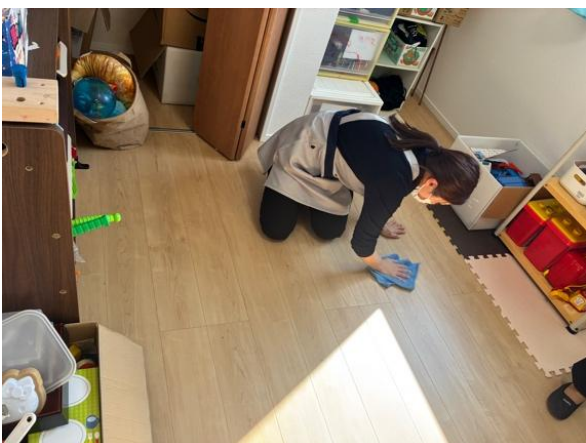


(after)

スッキリ整理整頓されました。

11時～

片付けをした後、掃除をします。





## ケース2 モニターBさん

令和7年度家事代行モニター体験レポート（岩手県）

11時15分～

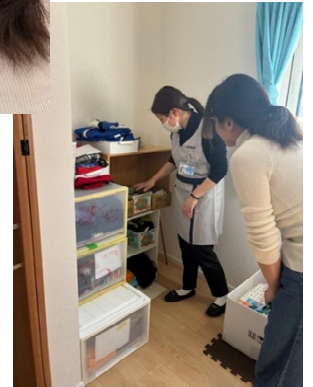
ご家族への説明。

どこへ何をどのように片づけたのか説明し、  
家族が整理整頓に取り組みやすくなります。

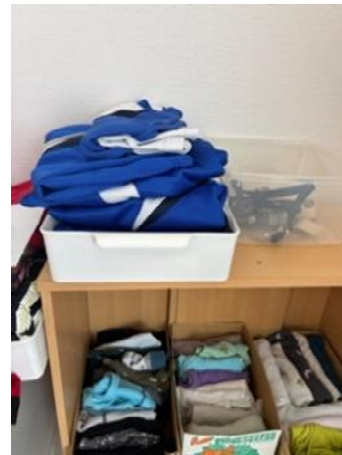
（プロのアドバイス）

衣装ケースには何が入っているかが分かる  
ように、サイズを書いた紙を見える場所  
に入れました。

ものに指定席があると子どもたちも整理しやすくなります。  
現状だと服が溢れてしまっているのを、収納場所を増やすのもおすすめです。  
着なくなった子ども服の中には、状態が良いものもありました。  
これらは、フリマなどに出品すると売れることもあります。  
子ども服は古着でも人気があります。



服のサイズを書いた紙を見える場所に



ものには指定席があると、  
整理しやすくなります。



(before)



(after)



### 4. 家事代行サービス利用後の感想

家事代行サービスを利用したあと、夫と子どもたちがきれいになった部屋を見て「部屋が広くなった！」と大喜び。夫は「この勢いで他のところも掃除しよう！」と言い出しました。子どもたちは、物を床に置きっぱなしにしているとお互いに注意し合うようになり、取り出したおもちゃや服を元の場所に戻すようになりました。

家事代行サービスを利用する前は、芸能人や政治家といった、特別な人が利用するものだと思っていました。家事代行サービスの方に家に来ていただくことすら「今はまだ呼べる状態じゃない」と思いましたが、思い切って来ていただいたら、とても話しやすく優しい雰囲気の方だったので「プロにお任せしてみよう」という気持ちになりました。

結果は大満足。子ども部屋でため息をつくことが無くなりました。たった2時間でこんなに気分がスッキリしてQOL（クオリティ・オブ・ライフ）が上がるなら、コスパ的にも非常に良いと思います。

#### 【ダスキンから】

親戚からいただくことも多い子ども服。普段着・学校の指定服・冬物・夏物・運動着・習い事で着る服など、どんどん増えていきます。おもちゃも然りです。

私たちは、ご依頼いただいた内容次第で、片付けのみにも集中できますが、お母さんだとそうはいきませんよね。「いつかやろう」と思っていることがありましたら、ぜひ、プロにおまかせください。



※本レポートの内容は、令和8年2月時点のモニター体験に基づくものです。

【本レポートに関するお問い合わせ先】

岩手県環境生活部若者女性協働推進室（電話019-629-5348）